公開用

木更津総合高等学校
教務部　小林弘幸

令和6年度学校評価における報告

本年度掲げた教務目標に対する反省項目

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
出欠、成績入力の厳正化	2	学籍システムがバージョンアップされ、便利な機能も追加されたが、反面「出席」の入力を怠るなど、検出しにくいエラーが増加している。	一見便利になったようで、その実学級担任の責任が重くなっていることを再認識して欲しい
観点別評価のあり方を再考してゆく	2	成績入力についても相変わらず未入力や、コピー&ペースト後に確認を怠るケースも多く見受けられています。	観点別評価は必ず読み合わせを実施する。

通常業務の中間反省項目

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
時間割(時間割作成自習監督の各ハウス伝達。自習監督の割り当てコンピュータ入力変更時間割変更)	3	ほぼ全員が関わっている作業である。必ずしも最適な対策が講じられたかは疑問を残すが、自己評価としては前年度同様その労力に評価「3」を与えたい。	自習監督の平等化と言われ続けているが難しい問題である。
定期試験・追試験・再試験(定期試験時間割・監督表の作成1・2年追試験実施　時間割・監督表の作成・集計・追試問題回収　追試願回収・追試者のPC入力(ハウス責任者)追試験及び監督割り当て当番※試験監督は原則全員特別再試験実施要項　時間割・監督表の作成	2	追試験の受験者が多い。5回のテストでは、本試験と追試験を作成するだけの試験範囲がない。無理に5回ではなく、前後期2回ずつの4回でよいかと思われる。	追試験のあり方を考える必要がありそうである。
日程・行事(行事予定表の作成学期末日程調整特別時間割及び時制作成・ハウス掲示指示)	1	年間行事予定はあちらを立てればこちらが立たずで、なかなかすべての要望を網羅することは出来ない。	その年に応じて計画を立てるしかない。

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
年間指導計画(年間指導計画・進度表の用紙作成・回収・保管)	2	特に問題はないという意見が多い。	特に問題なし。
教育課程(教育課程の作成)	2	ある程度の問題点は洗い出ししている。本校の、未履修科目があっても必履修でなければ進級できるという規定の影響で、分割履修時の単位認定が複雑になっている。	分割履修科目はできるだけ避け、また、分割履修科目は必履修とする必要がありそうである。(さらに問題はある)
教科書・補助教材(教科書・補助教材の申請及び発注教科書教科ごとの確認・配布企画・販売)	2	昨年に引き続き、教科書は配布のみ、代金は引き落としで実施。	代金引き落としは、リストの作成が大変であるが、概ね好評である。授業料同様滞納者は出校停止などの処置を取ることが可能か否か検討したい。
授業時間(授業時間の時報　放送)	1	今年度は調整が難しかった。曜日間の格差は修正できなかった。	年間レベルでは出来るだけ曜日間の差がないように計画はしているが、現実的に無理である。
研究授業(研究授業の企画・進行)	2	どうしても年度末に偏ってしまう。	行事の合間を縫って、計画する関係上後回しにされてしまう傾向にある。
実力テスト(新入生実力テストの企画・進行・集計・配送)	2	よく追試験の日時を聞かれるが、追試験を実施することは不可能である。オリエンテーションの日に追試験を実施しているが、参考点であって、実際にクラス分けには使用できない。	例年欠席者が多く、クラス分けの参考にするには厳しい。
教育実習(教育実習生の受け入れ・指導)	2	後半の実習でも単位不認定者を輩出した。ノートの再提出が気に入らなかったようである。	次年度も15人程度の申し込みがある。
スクールバス(スクールバスの配車)	2	直接運輸とやりとりしている。特に問題ないと思う。	特に問題なし
指導要録・出席簿(指導要録・出席簿の管理指導要録の作成指示及び点検)	2	ミスはやむを得ないが、あまりに多すぎる。	観点別評価の結果であるが、読み合わせをしっかりと行う。
コース履修(コース履修届の準備・説明会企画実施学習手引き原稿作成・印刷・製本集計(集計用紙作成も含む))	2	コースの選択、科目の選択と煩雑で、生徒も教員も趣旨が理解し切れていない。	総合選択制を見直す時期に来ているように思う。

優れている・・・3、適切・・・2、改善が必要・・・1